

# カタハガイ

*Obovalis omiensis* (Heimberg)  
イシガイ目・イシガイ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

九頭竜川水系、三方湖、久々子湖で生息が確認されていたが、近年、圃場整備や河川改修で分布域が局所的になっており、確認される個体数も少ない。

## 種の特徴

殻長 60～70 mm 前後の長卵形の二枚貝。殻は黒色で、二枚の殻のつなぎ目が前縁に極端に片寄り、後縁は波うったように見え、分枝状の放射状肋がみられる。緩やかな流れのある小河川や農業用水路、湖沼等の砂泥底に生息する。

## 分 布

本州では太平洋側は愛知県以西、日本海側は新潟県以西、四国、九州に分布する。県内では九頭竜川水系、三方湖、久々子湖に分布する。

## 生息を脅かす要因

河川改修等による成貝の生息場所の消失のほか、グロキディウム幼生の宿主となるコイ科、ハゼ科の魚類の減少や、産卵母貝となるタナゴ類等の減少が要因となる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会 (1998)、環境省編 (2014b)、福井県編 (2002)、増田・内山 (2010)、上西 (1998)、中川ら (1998)

| 市 町 別<br>生息情報 | 若狭町 | おおい町 | 高浜町 | 美浜町 | 小浜市 | 敦賀市 | 越前町 | 南越前町 | 池田町 | 永平寺町 | 坂井市 | 越前市 | あわら市 | 鯖江市 | 勝山市 | 大野市 | 福井市 |
|---------------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
|               | ○   | ○    |     |     |     | ○   |     | ○    | ○   | ○    |     | ○   |      | ○   |     |     | ○   |

# マルドブガイ

*Anodonta calipygos* (Kobelt)  
イシガイ目・イシガイ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

琵琶湖固有種であるが、標本記録より、県内には 1933 年以前に移植されたと考えられる。分布域が限定されている上、生息数も激減している。

## 種の特徴

殻長 50～80 mm で、150 mm を超えるものもある大型の二枚貝。殻長に比べて殻幅が非常に幅広く、殻頂が著しく膨らみ、突き出る。殻は薄く、光沢のある淡黄褐色から黒褐色。止水域を好み砂泥底に生息する。タナゴ類の中でも、特にタイリクバラタナゴの産卵母貝となる。

## 分 布

琵琶湖・淀川水系の固有種であるが、人為的に移植され、数府県に生息する。県内では三方湖と流入する別所川河口付近に分布する。

## 生息を脅かす要因

止水域の埋め立て、湖沼の護岸工事による生息環境の直接改変、生活排水の流入等による湖沼の水質悪化や底質の変化が主な減少要因となる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会編集 (1998)、環境省編 (2014b)、福井県編 (2002)、紀平ら (2009)、環境省編 (2005)

| 市 町 別<br>生息情報 | 若狭町 | おおい町 | 高浜町 | 美浜町 | 小浜市 | 敦賀市 | 越前町 | 南越前町 | 池田町 | 永平寺町 | 坂井市 | 越前市 | あわら市 | 鯖江市 | 勝山市 | 大野市 | 福井市 |
|---------------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
|               | ○   |      |     | ○   |     |     |     |      |     |      |     |     |      |     |     |     |     |

# マシジミ

*Corbicula leana* (Prime)  
ザルガイ目・シジミ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

県内の広い範囲に生息していたが、現在はそのほとんどが外来種のタイワンシジミに置き換わっている。本種が残っている生息地は極めて少ない。

## 種の特徴

淡水域に生息するシジミで、最大で 40 mm を超える。殻質は厚質堅固。殻頂部の膨らみはやや弱い。殻色は外側が茶褐色～黒色でヤマトシジミほど光沢はない。内側は外縁部が濃紺色で中心部は向かい白色が強くなる。雌雄同体で胎生。

## 分 布

本州・四国・九州に分布する。県内全域に分布し、平野部～山間部の河川や農業用水路等の泥底～砂れき底に広く生息する。

## 生息を脅かす要因

近縁種であるタイワンシジミ（要注意外来生物）の侵入による雑種化が主な要因。繁殖力の強いタイワンシジミが 1 個体、侵入してもマシジミと交雑するため、県内の広い範囲でタイワンシジミが確認されている。

参考文献 福井県編 (2002)、福井県自然環境保全調査研究会編 (1985)、増田・内山 (2010)、酒井ほか (2014)

| 市 町 別<br>生息情報 | 若狭町 | おおい町 | 高浜町 | 美浜町 | 小浜市 | 敦賀市 | 越前町 | 南越前町 | 池田町 | 永平寺町 | 坂井市 | 越前市 | あわら市 | 鯖江市 | 勝山市 | 大野市 | 福井市 |
|---------------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
|               | ○   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○    | ○   | ○    | ○   | ○   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○   |